

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【公表番号】特表2017-515009(P2017-515009A)

【公表日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-566799(P2016-566799)

【国際特許分類】

D 0 4 B 1/14 (2006.01)

D 0 4 B 1/04 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 3 D 15/12 (2006.01)

D 0 3 D 27/00 (2006.01)

【F I】

D 0 4 B 1/14

D 0 4 B 1/04

D 0 3 D 15/00 D

D 0 3 D 15/12 Z

D 0 3 D 27/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月8日(2018.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の糸および第 2 の糸を含む布地であって、

第 1 の糸が本質的に難燃性の繊維を含む第 1 の繊維ブレンドを含み、

第 2 の糸が、第 1 の繊維ブレンドとは異なり、且つ、ウール繊維を含む第 2 の繊維ブレンドを含み、

布地が難燃性である、布地。

【請求項 2】

布地が、少なくとも片面のフリース面を含む編物布地であり、

本質的に難燃性の繊維が、アラミド繊維、PBO 繊維、および PBI 繊維のうちの少なくとも 1 つを含み、

第 2 の糸が、起毛されて少なくとも片面のフリース面を形成する、

請求項 1 に記載の布地。

【請求項 3】

第 1 の繊維ブレンドが、ウール繊維を含まない、請求項 1 または 2 に記載の布地。

【請求項 4】

本質的に難燃性の繊維が、アラミド繊維を含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 5】

アラミド繊維が、パラアラミド繊維およびメタアラミド繊維のうちの少なくとも 1 つである、請求項 4 に記載の布地。

【請求項 6】

第 1 の繊維ブレンドが、モダクリル繊維およびリヨセル繊維をさらに含み、

第 2 の繊維ブレンドがモダクリル繊維をさらに含む、請求項 4 または 5 に記載の布地。

【請求項 7】

第 1 の繊維ブレンドが、少なくとも 5 % の本質的に難燃性の繊維を含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 8】

第 1 の繊維ブレンドが、少なくとも 25 % の本質的に難燃性の繊維を含む、請求項 7 に記載の布地。

【請求項 9】

第 2 の繊維ブレンドがモダクリル繊維をさらに含む、請求項 1 から 5、7 および 8 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 10】

ウール繊維およびモダクリル繊維が合計で第 2 の繊維ブレンドの大部分を構成する、請求項 6 または 9 に記載の布地。

【請求項 11】

第 2 の繊維ブレンドが、10 ~ 90 % のウール繊維および 90 % ~ 10 % のモダクリル繊維を含む、請求項 6、9、および 10 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 12】

第 2 の繊維ブレンドが、35 ~ 55 % のウール繊維および 45 ~ 65 % のモダクリル繊維を含む、請求項 11 に記載の布地。

【請求項 13】

布地が、2 つの面を備えるブラッシュ編物またはテリー編物を含み、

第 2 の糸が、布地の 2 つの面のうち少なくとも片面で起毛されて、フリース布地を形成する、請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 14】

布地が、2 つの面を備える 2 - エンド編物または 3 - エンド編物を含み、

第 2 の糸が、布地の 2 つの面のうち少なくとも片面で起毛されて、フリース布地を形成する、請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 15】

少なくとも片面のフリース面が、両面のフリース面を含み、

第 2 の糸が、起毛されて 2 面のフリース面を形成する、請求項 2 に記載の布地。

【請求項 16】

ウール繊維がスーパーウォッシュウール繊維を含む、請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 17】

ウール繊維が難燃処理ウール繊維を含む、請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 18】

布地が、織物布地である、請求項 1、3 から 12、16 および 17 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 19】

布地が、ブラッシュ編物もしくはテリー編物、または 2 - エンド編物もしくは 3 - エンド編物を含む、請求項 1 から 12、および 15 から 17 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 20】

A S T M F 1 5 0 6 - 0 2 (2 0 0 4) に含まれる A S T M D 6 4 1 3 (2 0 0 8) に従って試験した場合に布地が 6 インチ以下の炭化長および 2 秒間以下の残炭を有する、請求項 1 から 19 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 21】

N F P A 2 1 1 2 (2 0 1 2) に含まれる A S T M D 6 4 1 3 (2 0 0 8) に従って試験した場合に布地が 4 インチ以下の炭化長および 2 秒間以下の残炭を有する、請求項

1 から 2 0 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 2 2】

N F P A 2 1 1 2 (2 0 1 2) に従って試験した場合に布地が 1 0 % 以下の熱収縮を示す、請求項 1 から 2 1 のいずれか 1 項に記載の布地。

【請求項 2 3】

アラミド繊維を含むコア系、ならびにウール繊維およびモダクリル繊維を含むパイル系を含む布地であって、

布地が、2 つの面を有するブラッシュ編物構造またはテリー編物構造であり、

布地の 2 つの面のうち少なくとも片面のパイル系が起毛されてフリース布地を形成しており、

N F P A 2 1 1 2 (2 0 1 2) に含まれる A S T M D 6 4 1 3 (2 0 0 8) に従って試験した場合に布地が 4 インチ以下の炭化長および 2 秒間以下の残炎を有し、

コア系が第 1 の繊維ブレンドを含み、

パイル系が、コア系の第 1 の繊維ブレンドとは異なる第 2 の繊維ブレンドを含む、
布地。

【請求項 2 4】

コア系が、少なくとも 2 5 % のアラミド繊維を含み、

パイル系が、1 0 ~ 9 0 % のウール繊維および 9 0 % ~ 1 0 % のモダクリル繊維を含む、請求項 2 3 に記載の布地。

【請求項 2 5】

パイル系が、3 5 ~ 5 5 % のウール繊維および 4 5 ~ 6 5 % のモダクリル繊維を含む、
請求項 2 3 または 2 4 に記載の布地。

【請求項 2 6】

布地が、A S T M F 1 5 0 6 - 0 2 (2 0 0 4)、N F P A 2 1 1 2 (2 0 1 2)
および N F P A 7 0 E (2 0 1 2) の少なくとも 1 つに記載の 1 つまたは複数の性能基準を満たす、請求項 1 から 2 5 のいずれか 1 項に記載の布地。